

# 2050年には海にあるプラスチックの重さが、魚ぜんぶの重さをこえるんだって。

マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらが作る2050年～は、  
 ニューヨークブルックリンの5年生たちが世界的に大きな  
 プラスチック汚染問題の根っこが何かを彼らの視点で問いただし、  
 解決に向かって自分たちの地域からアクションを広げて行くまでの  
 2年間を追った長編ドキュメンタリーです。

ブルックリンのレッドフック地区にあるPS15の5年生は、自分たちでリサーチやデータ収集を  
 重ね、それを市議会で公表し、自分たちの住む地域で使い捨てプラスチックを減らす活動を重  
 ねていきます。そしてプラスチックはごみになってからだけでなく、生産の過程でも地球環境を  
 汚染していること、そしてそれが気候変動に関わっていることを発見し、自分たちの学校のカフ  
 フェテリアでアクションを起こし、それをニューヨーク市全体に広がっていきます。映画では子ども  
 達の素朴な疑問に専門家が答えて行き、アニメーションをふんだんに使って、このプラスチック  
 汚染問題をわかりやすく解き明かしていきます。子ども達のまっすぐな熱意から希望が滲み出  
 るマイクロプラスチック・ストーリーは、世界44の映画祭に選ばれ8つの賞を受賞しています。



## タラ号が伝えたい事が、この映画には詰まっています!



科学探査船タラ号で世界中を航海し、海が直面する環境問題や気候変動の影響を調査、研究して  
 いるタラオセアン財団。タラ号が、太平洋プロジェクト2016-2018で初来日し、香川県三豊市に  
 も来航して以来、タラオセアンジャパンと三豊市は、詫間町の栗島を拠点に、こども達への海洋環  
 境教育に共に力を入れています。  
 タラオセアンジャパンは、この映画に感銘を受け吹替版  
 を共同制作しました。  
 この映画を観て、地球環境や、地球の7割を占める海洋環  
 境を守るために、ニューヨークのこども達のように、一緒  
 に行動を起こしてくれる人が増えたら嬉しいです。

タラオセアンジャパンと  
 一緒に活動したい方は、  
 イベント情報などの発信  
 しているこちらをフォロー



全国578名から選ばれた、45名が子役の声を熱演! 香川県三豊市、高松市からも3名が選ばれ、声優を務めました!!



ジャック/テクワン役  
 田井翠月さん  
 (三豊市)

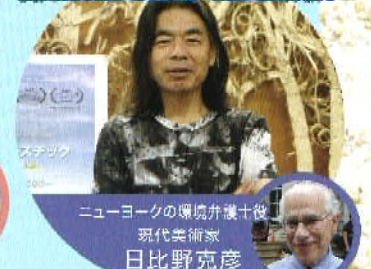


シャロン役  
 大下史華さん  
 (三豊市)



サナヤ役  
 石井美羽さん  
 (高松市)

タラオセアンジャパンの理事でもある  
 日比野克彦さんも声優に初挑戦!



ニューヨークの環境弁護士  
 現代美術家  
 日比野克彦

12.24(金)~30(金) UPLINK 京都・UPLINK 吉祥寺にてプレミア上映を実施

1.9(日) 三豊市文化会館マリンウェーブにて上映会 **無料** が決定!

18:00会場 声優を務めた中学生達の舞台挨拶&佐竹監督とのトークセッション開催(予定)

映画の最新上映情報は



共催: 三豊市 一般社団法人タラオセアンジャパン



協賛申込は  
 コチラから

